～雨水貯留槽を設置してみませんか？～

近年、各地で豪雨による被害が発生しています。和光市でも平成 26 年にゲリラ豪雨による大きな被害がありました。雨水貯留槽を設置することで災害時の緊急用水の確保や、大雨の際の洪水被害の防止に繋がります。さらに、溜まった水はお庭のお手入れや洗車など日常的に広く利用することができます。

和光市では住宅に雨水貯留槽を設置した方に補助金を交付しています。環境にもやさしく、災害時にも活躍できる雨水貯留槽を設置してみませんか？

雨水貯留槽って？

雨水貯留槽（雨水タンク）は、屋根に降った雨を雨どいからタンク内に溜めておき、その雨水を利用する目的で設置します。ホームセンターや通販で購入することができます。タンクは雨どいに接続しますが、大掛かりな工事は必要なく、ご自身で簡単に取り付けることもできます。

タンクの材質は主に木、プラスチック、金属があります。特徴はそれぞれですが、最も普及しているのはプラスチック製です。

プラスチック製

色・形・種類が豊富で軽いため設置も容易。
扱いやすく、中の清掃もしやすい。

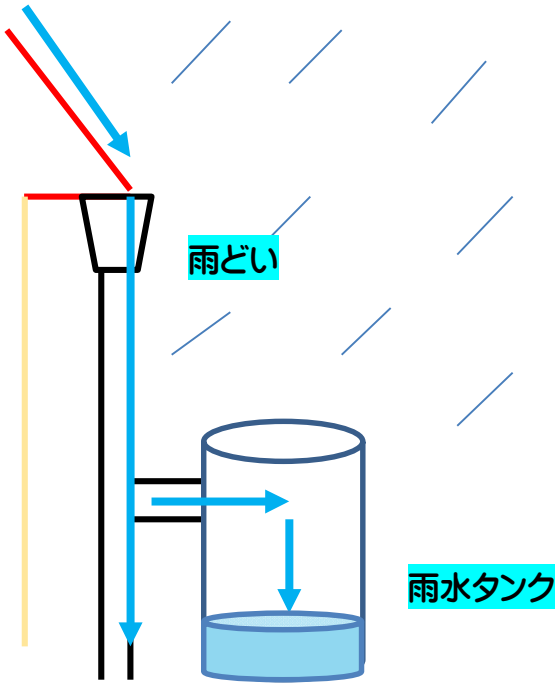
金属製

耐久性に優れているが、高価で重量もかなりあるため一人での設置・運搬は困難。

木製

ワインの熟成に使用されていた樽を雨水タンクに加工している。庭の草木とマッチするため見栄えが良い。しかし非常に重いため、設置・運搬には２、３人程度必要になる。

雨水タンクの仕組み



屋根に降った雨は雨どいから取水装置を通じてタンクに溜まります。タンクに入りきらなかった水は雨どいから地面に流れます。

その際、タンク内の水がいっぱいになったときのために**オーバーフロー用の出口**が必要です。

雨水貯留槽を選ぶ！

設置する雨水タンクを選ぶ基準としては、主に

容量・材質・コストを考える必要があります。個人住宅に設置するならプラスチックが扱いやすくおすすめです。庭に置くなら木製の樽型のものも見栄えが良いと思います。また、タンクに蛇口を取り付けた方が使いやすいです。もともと蛇口が取り付けられている製品も多数ありますので、タンクを選ぶ際の参考にしてください。

和光市では容量 80ℓから補助金対象となりますが、雨がたくさん降ると 80ℓ程度ではすぐにいっぱいになってしまいます。**初めての購入なら 80～150ℓ、本格的に雨水を利用したい場合は 200～400ℓのもの**が良いと思います。

コストの面ではプラスチックが安め、木製と金属製は高めのものが多いです。

どれにしよう・・・

・・・？

©和光市

タンクに溜めた雨水はどんな

ことに使えばいいんだろう？

©和光市

雨水タンクに溜まった水の使い道

まとまった雨が降れば雨水タンクはすぐにいっぱいになります。タンクの雨水の使い道としては、主に庭木の水やり、家庭菜園やガーデニングなどの植物への水やり、庭や玄関の掃除、夏場の打ち水などです。そのほかに、洗車やお子さんの水遊びや非常用水としても利用できます。また、水の処理や設備が必要になりますが、トイレの流し水やお風呂にも使用できます。

注意点としては、雨水タンクの中にボウフラが発生する可能性があるということです。タンク内は密閉されているのでボウフラは発生しにくいですが、雨どいを伝って中に進入してしまう場合があります。対策としては、取水器に網を取り付けたり、タンク内に銅板を入れる方法がありますが、タンク内に銅板を入れる方法が簡単で効果的です。また、溜まった水はすぐに使うことが何よりの対策となります。

草花の水やり、夏場の打ち水、屋外の掃除、トイレの流し水、車の洗車や洗濯などに利用することができるよ！

©和光市

雨水貯留槽を設置する！

雨水タンクを設置する場合は、自分で設置する、工務店やリフォーム店に頼む、雨水タンクの専門店で頼むのいずれかになります。通販では取り付けキットとのセット販売などもされており、設置自体はそれほど難しくありません。流れとしては、

①設置場所を決める。

②雨どいを切断して取水装置を取り付ける。

③取水装置と雨水タンクをつなぐ。

④必要な場合は架台と床を固定する。

となります。詳しくは専門店やリフォーム店等にお問い合わせください。

和光市の補助金制度について

和光市では、河川等への雨水の流出を抑制するとともに、雨水利用による水資源の有効活用を促進するため、住宅へ雨水貯留槽を設置した市民の方に補助金を交付しています。
※詳しくは和光市ホームページをご覧いただくか、環境課にお問い合わせください。
https://www.city.wako.lg.jp/kurashi/kankyo/1002939/1010172/1002940/1002942.html

雨水の有効利用にご協力ください！！

雨水は塩素を含んでいないので、草木にやさしい！

災害時や火災など、緊急時に使用する水を確保できます。

庭や道路への打ち水に利用することで、周囲の気温を下げることができます！

©和光市

和光市環境課　環境推進担当

ＴＥＬ：048-424-9118